

第1回中野区消防団運営委員会 議事録

開催日時	平成31年3月19日（火曜日）午後1時30分から午後2時30分まで
開催場所	中野区役所4階 区議会第2委員会室
諮問事項	特別区消防団の組織力を強化するための方策はいかにあるべきか
出席者	<p>委員長：中野区長 酒井 直人</p> <p>委員：荒木 ちはる（都議会議員） 河原井 守（中野防火防災協会会長） 大野 道高（野方防火防災協会会長） 大内 しんご、若林 しげお、小林 ぜんいち、日野 たかし、 広川 まさのり、山本 たかし（中野区議会議員） 岡里 勉（中野消防署長）、菅井 学（野方消防署長） 本多 正（中野消防団長）、鈴木 正明（野方消防団長）</p> <p>事務局（中野消防署）後藤警防課長、田波防災安全係長、担当者1名 （野方消防署）野崎警防課長、菊池防災安全係長、担当者1名 （中野区）中川都市基盤部副参事（防災担当） 荒井災害対策係長、担当者2名</p>
欠席者	高倉 良生（都議会議員）、西沢 けいた（都議会議員）
傍聴者	なし
配布資料	<p>平成30年度 中野区消防団運営委員会(第1回) 次第</p> <p>平成30年度 中野区消防団運営委員会委員名簿</p> <p>資料1 前回の答申概要の報告及び今回の諮問に対する検討事項について</p> <p>資料2 委員会日程（案）</p>
審議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 委員の委嘱 3. 前回の答申概要の報告及び今回の諮問に対する検討事項について 4. 委員会日程について 5. その他 6. 閉会
審 議 内 容	
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・開会の挨拶 ・新たな2名の委員の委嘱と紹介 本多 正（中野消防団長）、菅井 学（野方消防署長）
事務局(中野区)	<ul style="list-style-type: none"> ・配布資料の確認
委員長	<p>これより、次第に沿いまして、議事に入ります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「前回の答申概要の報告及び今回の諮問に対する検討事項について」中野消防署から説明願います。

事務局(中野消防)	<p>「資料1 前回の答申概要の報告及び今回の諮問に対する検討事項について」に沿って説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料に記載がない従来の65mmホースよりも50mmホースやガンタイプノズルも整備される予定です。 ・特別区消防団員の定員16,000人のところ、現員数約13,000人(充足率約83%)の現況があり、団員の確保が急務となっています。 ・生業との掛け持ちが入団促進への障壁となっていることから、団員の負担を軽減し、入団を促進する策として機能別団員の導入を図るものです。 ・学生団員についてはインターネット調べですが、埼玉県越谷市に学生消防団があり、地域の18歳以上の学生を対象に災害があったときや、平時の防災訓練等の消防団行事への参加をしており、報酬は基本団員との差別化を図っているようです。 ・泉佐野市では市役所分団として市役所職員が平日昼間の災害のみ活動するといった例があります。
委員長	<p>只今の説明に対して、ご意見等がありましたら、挙手のうえ、ご発言願います。</p>
日野委員	<p>(質疑応答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機能別消防団の導入は特別区全体で同じ体制で進めるのか、区ごとや消防団ごとの体制で進めるのか。
事務局(中野消防)	<p>今回の答申に基づき東京消防庁で統一したものが示される見込みですが、統一的な体制と中野区で合わない部分は個別のやり方というのも有り得ます。</p>
日野委員	<ul style="list-style-type: none"> ・機能別団員の指揮系統は現在のものに組み込むのか、または新たなリーダーを設置するのも今後検討していくのか。
事務局(中野消防)	<p>基本的には団長を中心とした指揮系統になると思われませんが、中間に新たなリーダーを設置するのといったことも今後検討していくべきと考えています。</p>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・機能別団員で越谷市の例があったが、東京でやっている例はあるのか。
事務局(中野消防)	<p>学生団員はあります。</p>
荒木委員	<ul style="list-style-type: none"> ・区の防災リーダー養成講座にも多数の参加があり、防災意識の高い区民が多いと感じている。しかし、消防団に入団となると子育てや介護をしている人や女性にとってはハードルが高いという意見もある。現場ではそういった方々も

事務局(中野消防)	<p>一緒になるので、機能別団員の導入については是非検討を進めてほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指揮命令系統について、基本団員は顔の見える関係だが、災害時だけ活動する機能別団員は平常時からの関係づくりが難しいため、団長や分団の意見をよく反映して検討していただきたい。 ・埼玉県越谷市の学生団員の例があったが、他自治体の事例を研究し、メリット・デメリットを提示していただきたい。 <p>検討の参考とさせていただきます。</p>
若林委員	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の答申を踏まえた資器材（フローティングストレーナー）や50mmホース、ガンタイプノズルはいつ頃分団に配備されるのか。
事務局(中野消防)	<p>まだ、主管部署からの連絡がないためお知らせできません。50mmホース及びガンタイプノズルについては現在試行という形で配備している団があるので、必要な改良を行った後整備するものと聞いております。</p>
若林委員	<ul style="list-style-type: none"> ・現在消防団で使用するホースは65mmだが、署隊に配備されている50mmホースとガンタイプノズルのほうが機能性がある。また、消火栓蓋を開ける資器材（スピードキー）の配備も有効だと思うので検討していただきたい。（要望）
山本委員	<ul style="list-style-type: none"> ・機能別団員の導入は中野区では今年度から進めているのか。
事務局(中野消防)	<p>現在中野区では消防団の方にご意見を伺いながら処遇等が公平になるよう検討を進めている段階です。</p>
山本委員	<ul style="list-style-type: none"> ・報酬については今後も審議していく必要があるが、区の職員にまずは機能別団員として活動をお願いするというのが可能性として高いのと、消防団OBの方々に声掛けをするというのも手伝っていただけるのではないかと。 ・外国人が中野区はこの10年間で急増している。災害時に不特定の外国人居住者に対しての避難指示が困難であることから、東京2020大会の機会を捉えて簡易翻訳機の導入も地域のコミュニティづくりに資する形で地域防災力の向上に繋げていただきたい。
山本委員	<ul style="list-style-type: none"> ・中野区内の消防団員数の目標値は設定されているのか。
事務局(中野消防)	<ul style="list-style-type: none"> ・東京消防庁で全庁的に充足率90%を目標に取り組んでいますが、中野区ではなかなか目標値に近づくようには進んでいないのが現状です。
山本委員	<ul style="list-style-type: none"> ・団員数が少ない中、現在の団員も頑張って行事等に参加しているので、責任

<p>本多委員</p>	<p>者、目標値の設定をしっかりとやって各分団会議に効果が上がっているのかを検証し、改善していく必要がある。いい機会なので今後の継続的な団運営についてしっかりと検討していきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どこの分団でも入団促進は力を入れているが、団員は誰でもいいという訳ではない。よく見極めて任命しなければいけないので区職員や、町会長からの推薦された方は安心できる。 ・機能別団員については、やはり不公平感があるのではという危惧がある。そこが払拭できなければ基本団員からの不満が出て、せっかく入団していただいても良い関係が築けないのでないか。お互いが理解できる体制にするためには時間が必要だと感じている。
<p>荒木委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・やりたいが自分には無理だと思っている人も多い。機能別団員と基本団員には大きな違いはあるが、まずは機能別団員として入団し、様々な行事に参加してみることで改めて基本団員として活動してみたいという人も増えるのではないかと思う。区分けをしっかりとしたうえで、機能別団員を足掛かりとして団員確保に繋げていただきたい。
<p>小林委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の答申を踏まえた酷暑対策用被服は素材、形状等は具体的に進んでいるのか。
<p>事務局(中野消防)</p>	<p>進んでいる筈ですが、まだ示されてはいません。</p>
<p>小林委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・消防団員の減少により、地域防災力の低下が懸念されるが、地域防災力の担い手として消防団とは別に町会には防災会がある。先ほど消防団 OB の話が出たが、どちらかという区職員や女性、学生などの入団促進を強化していくのが大事なのではないか。区役所は公の組織なのでよいが、中野区は大学や専門学校もあり、昼間は多くの学生が区内にいる。また、企業団体の方々も昼間は多い。こういった方々へのアプローチはないのか。
<p>事務局(中野消防)</p>	<p>学生に対してのアプローチは過去にしましたが、参加はありませんでした。消防団入団の説明会という形だったので、機能別団員についての説明などアプローチの仕方を変えてやってみれば違うのかもしれない。</p> <p>企業団体へのアプローチは未実施です。</p>
<p>小林委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中野区では今年度から中学校でもスタンドパイプ・軽可搬ポンプ操法大会に参加している。大規模災害に向けては企業や団体にも昼間の消防団員としての活躍を望めるのではないか。 <p>休日・夜間については、「消防団」という敷居を低くすることで広がっていくのではないかと考えているが見解をお伺いしたい。</p>

事務局(中野消防)	<p>今後の検討の中で答えの一つとして事務局から委員の皆様にご提示していきたいと考えています。</p> <p>また、大規模は事業所については自衛消防隊が組織されているので、機能別団員として位置づけするというのも方策の一つとして考えています。</p>
広川委員	<ul style="list-style-type: none"> ・中野区人口が増加している中で、転入者に対する働きかけをやってはどうか。
事務局(中野消防)	<p>有効な方策として検討します。</p>
山本委員	<ul style="list-style-type: none"> ・消防少年団以外の高校生への働きかけはどんなことをしているのか。
事務局(中野区)	<p>消防少年団に対しては消防団員の背中を見て育つよう消防団員による指導体制をとっています。それ以外の高校生に対しては具体的に消防団への勧誘は行っていません</p>
山本委員	<ul style="list-style-type: none"> ・学生に対するアプローチの仕方としては、例えば SNS から消防団紹介ページに誘導するなど工夫が必要なのではないか。また、入団前に想像していたもののギャップによりすぐに退団してしまうといった事を防ぐ方策も必要ではないか。
委員長	<p>次に、2. 委員会日程(案)について、事務局より説明願います。</p>
事務局(中野区)	<p>「資料2 委員会日程(案)」について説明</p>
委員長	<p>只今の説明に対して、ご意見等がありますでしょうか。</p> <p>(質疑応答) なし</p>
委員長	<p>次に議題の3番、その他ですが、委員の皆様から、何かご発言はございますか。</p>
河原井委員	<ul style="list-style-type: none"> ・元町会長の立場として、地域がどうあるべきかを考えると町会単位で人の輪を作るのが先だと感じる。町会長は身近に地域の人を見てきているので町会長への協力依頼をしていくと流れが変わっていくのではないか。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・今回、各委員からいただいた意見から、入団促進についてはアプローチの方法を確立する必要があると思います。町会から入団に繋がればミスマッチは少ないということだと思いますし、学生は大きな人的資源として目の前にあるが今まで活用できていないのでアプローチの仕方を検討していく必要があ

事務局(中野区)	<p>ります。</p> <p>また、基本団員と機能別団員を明確に分けたうえでその後のステップアップを含めて検討する必要があります。次回、これらを整理したうえで、それを踏まえたご意見をいただければと思います。</p> <p>(他に) ご発言がなければ、議事を終了いたします。</p> <p>以上をもちまして、第1回中野区消防団運営委員会を閉会いたします。</p> <p>本日は、ありがとうございました。</p>
----------	--